

ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人第6回無担保投資法人債 (別称：KDR ソーシャルボンド) の引受けについて

今般、みずほ証券株式会社(取締役社長:飯田 浩一)は、ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人が発行するソーシャルボンド(以下「本ソーシャルボンド」といいます。)の引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。

ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人は、国際資本市場協会(ICMA)が定めるソーシャルボンド原則 2018^{※1} に即したソーシャル・ファイナンス・フレームワークを策定するとともに、その適合性を担保するため、株式会社日本格付研究所からソーシャルファイナンス^{※2} に関する第三者評価として JCR ソーシャルファイナンス・フレームワーク評価の最上位評価である「Social 1(F)」を取得しました。

本ソーシャルボンドで調達された資金は、その全額がソーシャル適格資産の取得資金として調達した借入金の弁済(期限前弁済を含みます。)資金等に充当されます。

※ソーシャル適格資産とは、以下の適格クライテリアを満たす資産をいいます。

シニアリビング施設	<ul style="list-style-type: none">・ 有料老人ホーム・ サービス付き高齢者向け住宅・ シニア向けマンション・ 認知症高齢者グループホーム・ 小規模多機能施設・ デイサービス施設 等
メディカル施設	<ul style="list-style-type: none">・ 病院・ 診療所・ 医療モール・ 介護老人保健施設 等

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場における ESG(環境・社会・ガバナンス)債の専門的な情報収集、お客さまの ESG 債ストラクチャリングを支援するため、2017 年にサステナブル・ファイナンス・デスクを設置し、その後 2019 年からサステナブル・ファイナンス室を新設して、これらの取り組みを強化しています。

これらの取り組みにより、当社はソーシャルボンド等の引受けなど、さまざまなお客さまの ESG 債の起債を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客さまの社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。

当社は、日本の円建て債券市場でトップティアの取引シェアを確保しています。

また、海外市場では、お客さまのさまざまなニーズに応えるためのクロスボーダー債券取引を強化し、実績も着実に増加しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客さまの金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、ESG をはじめとする債券の引受けを一層推進し、最良のサービスを提供してまいります。

以上

※1 ソーシャルボンドの発行に係る自主的なガイドラインとして国際資本市場協会(ICMA)により策定されたもの。

※2 調達資金の使途が、社会的課題の解決に資するものであること(ソーシャル性)を有する負債性資金調達全般(ボンドやローンを含む)を指す。